allcinema

サラトガ本線（1944）

SARATOGA TRUNK

メディア 映画
ジャンル サスペンス　アドベンチャー　ロマンス
製作国　アメリカ
色彩　B&W
時間　135分
初公開日 1950/03/01
公開情報 セントラル

【解説】

４１年に女流作家Ｅ・ファーバーが発表したベストセラーの映画化。１９世紀末、クリオ（バーグマン）はパリからアメリカに戻って来た。それは名家の娘と結婚させるために母と自分を捨てさせ、図らずも父までを死なせた一族に恨みを晴らすためだった。名家を誇る家への復讐には多額の資金が必要と、クリオはニューヨーク州の鉄道、サラトガ鉄道の会社の社長で資産家のバートと結婚するためにやって来る。一方そこには、テキサスで牧畜業を営んだ金で亡き父の仇を討つため、クリント（クーパー）もやって来ていた。彼の父を殺したのは、無頼漢を雇い石炭の鉄道輸送を妨害して株の暴落を誘い、サラトガ鉄道の乗っ取りを謀っていた男だった。クリントとバートは、列車妨害を掃討することで手を組む。クリオは、政略結婚とクリントへの愛の板挟みになってしまう……。「誰が為に鐘は鳴る」の監督、主演コンビで、サラトガ本線を舞台に恋と冒険が繰り広げられる。スケールの大きい娯楽超大作だが「誰が為に～」と比べテーマが通俗的過ぎ、クーパーに比べ、バーグマンの復讐の考え方が不自然にも見え風格ある作品とは言い難い。血生臭い利権の争いもあってか、既に完成していたにもかかわらず、アメリカでは４５年末まで一般公開されなかった。

【クレジット】

監督	サム・ウッド	Sam Wood	
製作	ハル・Ｂ・ウォリス	Hal B. Wallis	
製作総指揮	ジャック・Ｌ・ワーナー	Jack L. Warner	
原作	エドナ・ファーバー	Edna Ferber	
脚本	ケイシー・ロビンソン	Casey Robinson	
撮影	アーネスト・ホーラー	Ernest Haller	
編集	ラルフ・ドーソン	Ralph Dawson	
音楽	マックス・スタイナー	Max Steiner	
出演	イングリッド・バーグマン	Ingrid Bergman	クリオ・デュレイン
	ゲイリー・クーパー	Gary Cooper	クリント・マルーン大佐
	フローラ・ロブソン	Flora Robson	アンｈジェリーク・ブイトン
	ジェリー・オースティン	Jerry Austin	キュピドン
	ジョン・ウォーバートン	John Warburton	バーソロミュー・ヴァン・スティード
	フローレンス・ベイツ	Florence Bates	ソフィー・ベロップ
	クルト・ボウワ	Curt Bois	オーガスティン・ホーシー
	ジョン・アボット	John Abbott	ロスコー・ビーン
	エセル・グリフィス	Ethel Griffies	クラリッサ・ヴァン・スティード

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

ルイス・ペイン	Louis Payne	（クレジットなし）
モンテ・ブルー	Monte Blue	（クレジットなし）

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.